

光なら、きっとできる。
Light Solutions for Life®

第46期 中間報告書

2020年6月1日 ▶ 2020年11月30日

Contents

株主の皆様へ	Topics	こんなところにシグマ光機 研究開発分野
第2四半期業績(連結)		新製品紹介 オプティカルケージシステム
第2四半期のセグメント別概況		C32シリーズ
2021年5月期業績見通し(連結)		第45回定時株主総会のご報告・株主様アンケート結果のご報告
		連結財務諸表
		株式の状況/会社概要



経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様にご心で哀悼の意を表します。また、罹患されている方々、困難な状況におられる方々が一日も早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。

当上半期は、売上高が前年同期比5.7%減の40億5千4百万円、経常利益は前年同期比1.2%減の4億4千6百万円となり、期初の業績予想は上回ったものの、前年同期比で減収減益となりました。世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等、依然として予断を許さない状況が続いております。一方、最先端の研究開発分野及び次世代向けの産業分野においては、社会課題の解決に資する技術革新への挑戦が続いており、より高度な光技術のニーズはますます高まっております。当社においても、持続的な企業価値の最大化に向けて、有望な成長分野への事業展開を進めております。今後も、株主様のご期待に応えられますよう、安定的な株主還元を努めるとともに、より安全で豊かな社会の実現に貢献してまいります所存でございます。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社

代表取締役社長 **近藤 洋介**

第2四半期業績 (連結)

売上高 40億5千4百万円

(前年同期比 5.7%減)



経常利益 4億4千6百万円

(前年同期比 1.2%減)



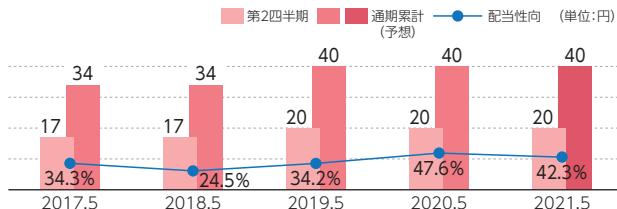
親会社株主に帰属する

四半期(当期)純利益 3億2千万円

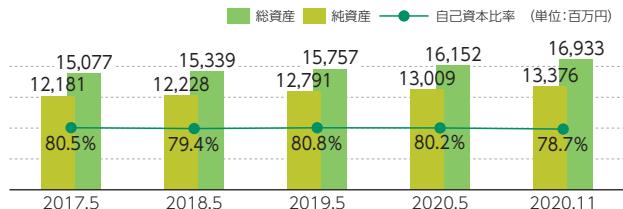
(前年同期比 8.5%増)



配当金、配当性向



総資産・純資産・自己資本比率



第2四半期のセグメント別概況

▶ 要素部品事業

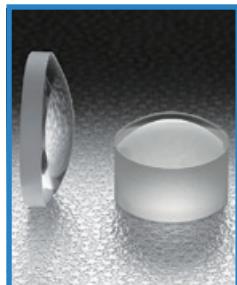
売上高



8.3%減

(前年同期比 2億9千5百万円減)

(単位:百万円)



ポイント 半導体等の産業分野向けが回復基調

大学・官公庁向けは堅調に推移し、産業分野向けは弱含みで推移いたしました。国内・アジア地域では、電子部品・半導体業界向けの需要が回復基調で推移し、通信業界向けは堅調に推移いたしました。一方、バイオ業界向けにおいても回復の兆しが見られたものの、総じて軟調に推移いたしました。また、米国地域及び欧州地域の需要は軟調に推移いたしました。

▶ システム製品事業

売上高



6.0%増

(前年同期比 4千6百万円増)

(単位:百万円)



ポイント レーザ加工機・検査装置向けに持ち直しの動き

産業分野の一部の業界向けで持ち直しの動きが見られ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。フラットパネルディスプレイ業界向けのレーザー加工機・検査装置への組み込み用のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要は緩やかな持ち直しの動きが見られました。また、防衛業界向けの需要も堅調に推移し、医療業界向けの需要は回復基調で推移いたしました。

2021年5月期業績見通し (連結)

世界経済は、緩やかな持ち直しの動きが見られており、主にフラットパネルディスプレイ・電子部品・半導体業界向け等が回復基調で推移しておりますが、新型コロナウイルスによる影響は大きく、本格的な回復にはまだ時間を要すると思われま。引き続き先端技術分野向けの技術開発と全社的な生産性の向上等に取り組み、持続的な成長を図ってまいります。第46期中間配当は、期初予想通り1株当たり20円とさせていただきます、安定的な株主還元を行ってまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額(通期累計)
8,485百万円 (前期比 0.1%減)	820百万円 (前期比 15.2%増)	950百万円 (前期比 13.1%増)	670百万円 (前期比 12.5%増)	40円 配当性向(見通し)42.3%

※2020年7月10日に公表いたしました2021年5月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想(連結・個別)を2021年1月12日付にて修正しております。詳細は、当社ホームページでご確認ください。

Topics こんなところにシグマ光機 研究開発分野

シグマ光機は、創立以来、光技術に関わる研究開発機関及び民間企業の技術者・研究者の皆様に、光ソリューションを提供しながら光産業を共に歩んでまいりました。

●光技術に関わる主な研究開発分野



●最先端の研究開発をバックアップ

火星探査ミッション
[Mars2020]



©LESIA Observatoire
de ParisPSL

[クラウド光格子時計による
時空間情報基盤の構築]



©2015 香取秀俊

大型低温重力波望遠鏡
[KAGRA]



写真提供：国立天文台

●光なら、きっとできる。

シグマ光機のものづくりは、様々な分野における研究開発の挑戦と共に歩んでまいりました。光技術による社会貢献という経営理念の実現に向けて、長年培われた確かな技術と市場の変化に対応する商品力で、挑戦を続けてまいります。

詳細情報はこちらをご覧ください。

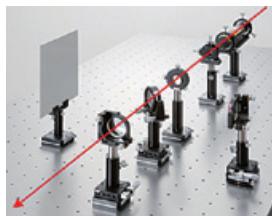
[http://www.sigma-koki.com/pages/
company/collaboration_jp.php](http://www.sigma-koki.com/pages/company/collaboration_jp.php)



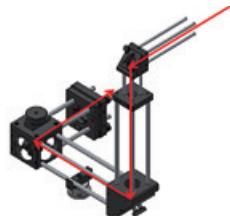
Topics 新製品紹介 オプティカルケージシステム C32シリーズ

オプティカルケージシステムは、レンズやミラー等の各種光学素子を簡単に光軸に沿って配置できる光学系実体配置ツールです。4本の専用ロッドを利用することにより、3D光学系を構築することが可能です。

■オプティカルケージシステム



▲従来の干渉計



▲オプティカルケージシステム
(3D光学系)

■当社オリジナルサイズ：C32シリーズ



2本のロッド間の中心距離となるコーナー配置を32mmにした製品群です。国内で使用することの多いΦ30mmの光学素子・薄膜製品及び□40mmの光学基本機器製品等、多種多様な当社製品とご使用いただけます。

第45回定時株主総会のご報告

2020年8月27日、本社・日高工場にて第45回定時株主総会を開催いたしました。

今回は、株主様の健康と安全を第一に考え、書面による事前の議決権行使を推奨させていただき、総会当日のご来場をできるだけお控えいただきたい旨のお願いを申し上げます。また、当日ご来場された株主様には入場前の検温やアルコール消毒等、感染防止にご協力いただきました。この度は当社の対応にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございました。

【感染症対策】

- 会場入口における検温とアルコール消毒
- 株主様及び会場内スタッフのマスク着用
- 飛沫感染対策用パーテーションの設置
- 会場座席及び受付時のソーシャルディスタンスの確保
- 会場内換気の徹底



検温

消毒

マスク

飛沫対策

ソーシャル
ディスタンス

換気



▲株主総会の様子



▲会場前の受付

株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第45期報告書で実施させていただきましたアンケートにつきまして、アンケート対象の全株主様4,474名（2020年5月31日時点）の約2%に相当する87名の株主様からのご回答をいただきました。お寄せいただきましたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

株主様からのご意見

Q 製品がどこで使用されているか分からない。
小型自動ステージはどこで使用されているのですか？

A 当社の製品は普段目にする機会は少ないですが、様々な研究開発及び民間産業を支えています。小型自動ステージは、微細加工・精密測定等を行う生産設備及び実験装置等の内部に組み込まれて使用されています。例えば微細化が進むレーザ加工においては、レーザ光軸と加工対象物の精密な自動位置決めで使用されており、小型・軽量を活かして、スペースの有効活用や省力化にも寄与しております。今後も高精密化・小型化が進む市場のニーズに応えるべく、技術革新を続けてまいります。

※小型自動ステージに関する詳細情報はこちらも参照ください。
<https://is.gd/upL5cs> (当社公式YouTubeチャンネルの短縮URL)

Q 厳しい環境であるが、
技術力で安定した収益を上げていただきたい。

A 新型コロナウイルス感染症の拡大等、世界経済は先行き不透明感が高まっております。そのような中、当社では、製品紹介動画の配信及びWebセミナーの開催等、販促活動のオンライン対応を進めております。その他、新工場棟の稼働開始等による生産性・生産能力・生産技術の向上も推進しており、製品ラインナップの増強や外部機関との連携等、技術開発力の向上にも継続して取り組んでおります。今後も市場が求める製品・ソリューションの早期市場投入に取り組み、持続的な成長を実現してまいります。

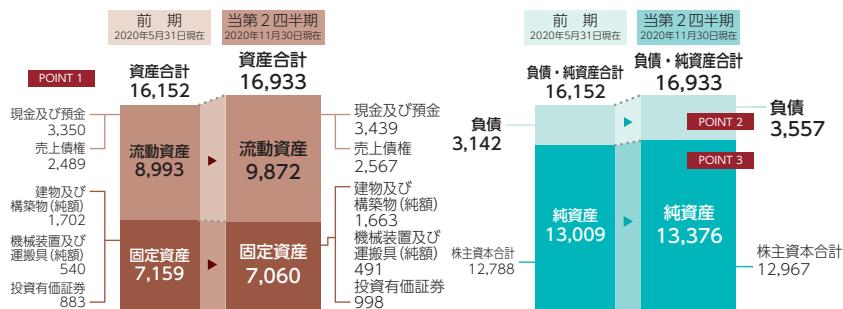
株主様からのご意見・ご要望のご紹介

- 毎回、通信が届いたらトピックスをまっさきに楽しみに読んでいます。
- 好財務で質実剛健な会社という印象。
- 技術力の高さをもっと世間にPRしてほしい。
- 大学とも共同開発して独自技術を磨いてほしい。

連結財務諸表

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



POINT 1

資産の変動

流動資産は、有価証券、商品及び製品がそれぞれ増加しましたが、仕掛品、原材料及び貯蔵品がそれぞれ減少したこと等により前期末比で9.8%増加しました。固定資産は、投資有価証券が増加しましたが、繰延税金資産、機械装置及び運搬具がそれぞれ減少したこと等により前期末比で1.4%減少しました。

POINT 2

負債の変動

流動負債は、短期借入金が増加しましたが、電子記録債務が減少したこと等により前期末比で20.9%増加しました。固定負債は、長期借入金が増加したこと等により前期末比で2.1%増加しました。

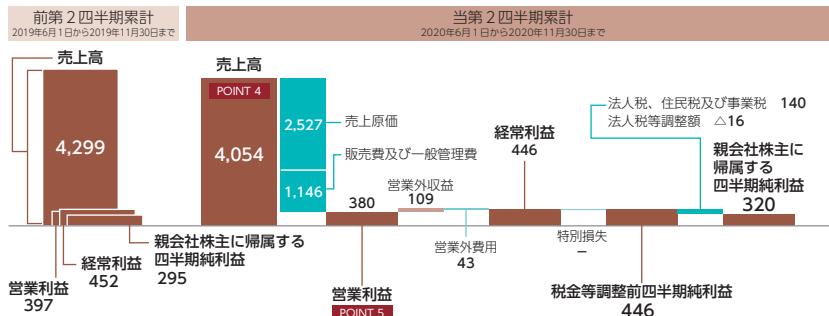
POINT 3

純資産の変動

純資産は、前期末比2.8%増加しました。また、自己資本比率は78.7%となりました。

連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



POINT 4

売上高の動き

売上高は、前年同期比で5.7%減少となりました。大学・官公庁の研究開発分野においては、需要は堅調に推移しましたが、民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、期初からの世界経済の減速傾向などを背景に弱気みで推移しました。また、米国地域の需要は軟調に推移し、欧州地域の需要は弱気みで推移しました。

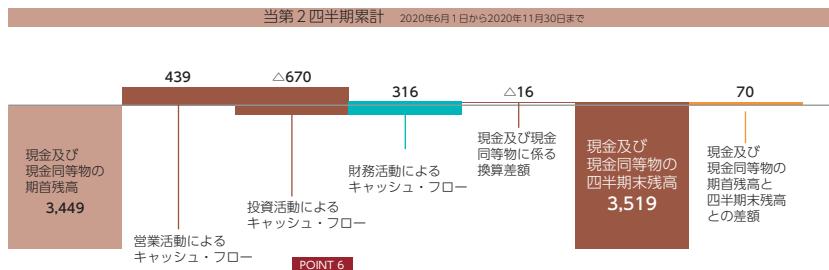
POINT 5

営業利益の動き

営業利益は、ポートフォリオの変化による材料費率の減少、広告宣伝費、販売促進費等がそれぞれ減少しましたが、減収による利益減少、減価償却費の増加等により前年同期比で4.2%減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



POINT 6

キャッシュ・フローの状況

営業CFは、仕入債務の減少、売上債権の増加、法人税等の支払等により減少しましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費等による増加があり、資金を獲得しました。投資CFは、短期資金運用のための有価証券の増加による支出、有形固定資産の取得による支出等による減少があり、資金を使用しました。財務CFは、配当金の支払、長期借入金の返済による支出等により減少しましたが、短期及び長期借入による収入等による増加があり、資金を獲得しました。



株式の状況／会社概要

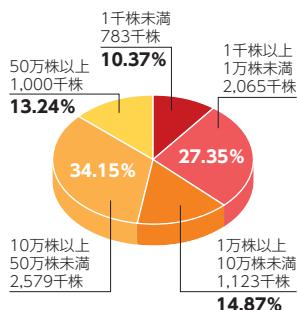
株式の状況 (2020年11月30日現在)

- ①発行可能株式総数 32,000,000株
- ②発行済株式の総数 7,552,628株
- ③株主数 4,744名
(前期末比270名増)
- ④主要株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松トホニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引先持株会	414	5.84
株式会社ツシマ	213	3.02
シグマ光機従業員持株会	209	2.95
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.86
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	156	2.20
株式会社サンライズクリエート	148	2.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	143	2.02
杉山 大樹	110	1.56

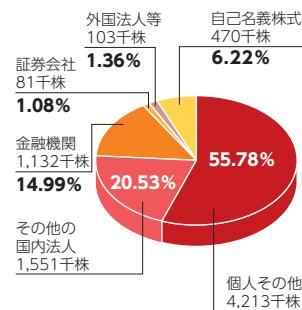
- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率は、自己株式(470,332株)を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
 3. 自己名義株式(470,332株)を含んでおります。

所有者別株式分布状況



会社概要 (2020年11月30日現在)

- 社名** シグマ光機株式会社
- 本社** 埼玉県日高市下高萩新田17番地2
- 設立** 1977年(昭和52年)4月
- 資本金** 26億2,334万円
- 従業員数** 357名
- 役員**
 - 代表取締役社長 近藤 洋介
 - 取締役 中村 良二
 - 取締役 多幡 能徳
 - 取締役 小澤 勉
 - 常勤監査役 山口 秀一
 - 監査役 南雲 幸一
 - 監査役 野崎 誠

- (注) 1. 小澤勉氏は社外取締役であります。
 2. 南雲幸一氏及び野崎誠氏の2氏は社外監査役であります。
 3. 社外監査役 野崎誠氏は独立役員であります。

◆ 主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

◆ 関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 毎年8月開催
基準日 定時株主総会 毎年5月31日
期末配当金 毎年5月31日
中間配当を行う場合は、毎年11月30日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
電子公告URL <http://www.sigma-koki.com/>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)  **0120-782-031** (通話料無料)
(インターネット ホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といます。)を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

(特別口座 口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)  **0120-288-324** (通話料無料)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※なお、抽選は同時期に実施されている他社株主アンケートへの回答者を含めて行われます。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7713

いいかぶり

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL:info@e-kabunushi.com

 **シグマ光機株式会社**
東京本社 東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221 (総務部)

UD
FONT

